

「自己主導の学び」「協同の学び」「探究の学び」を展開する幼小中一貫校

# かざこし 「軽井沢 風越 学園」 設立準備スタート

設立準備財団理事長に元楽天副社長・本城慎之介  
理事に東京学芸大学大学院准教授・岩瀬直樹、熊本大学准教授・苫野一徳

2017年2月1日

一般財団法人軽井沢風越学園設立準備財団

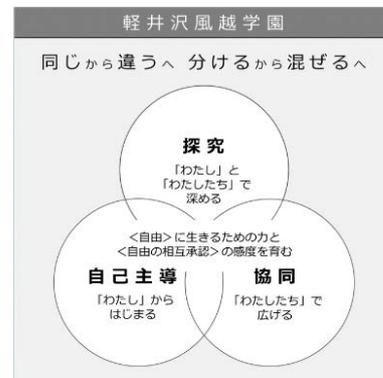
<http://kazakoshi.jp/>

一般財団法人軽井沢風越（かざこし）学園設立準備財団（長野県北佐久郡軽井沢町、理事長・本城慎之介、以下「設立準備財団」）は、幼小中12年間一貫教育を行う学校法人軽井沢風越学園の設立に向けた準備を本格的に開始いたしました。2020年4月に軽井沢町での開校を目標としています。

設立準備財団の理事には現場と経営の視点から教育事業家として活動している元楽天副社長・本城慎之介（理事長）、教育実践家として教育カリキュラムのあり方を研究している東京学芸大学大学院准教授・岩瀬直樹（副理事長）、教育哲学者としてこれからの教育のあり方を研究している熊本大学准教授・苫野一徳（理事）が就任します。

設立準備財団では、これまでの画一的なカリキュラム、一斉授業、固定的な学年学級制に代表される従来型の学校教育とは異なる新しい学校の在り方を提示し、公教育のモデルとなるような学校の設置を目指します。そのため、「すべての子どもの“自由”に生きるための力と“自由の相互承認”の感度を育む」を理念に掲げ、「同じより違う、分けるより混ぜる」を軸にして、「自己主導の学び」「協同の学び」「探究の学び」を取り入れた学校カリキュラムを展開していく予定です。

【「軽井沢風越学園」概念図】



また、軽井沢町の豊かな自然環境を活かすことで、3歳から15歳の子ども達が共にゆるやかに関係する学習環境を整え、地域と連携した学校創りを通し地域貢献にも寄与していきます。

（今後の予定）

2018年6月 長野県に対して「学校法人設立並びに学校設置の認可」申請

2020年4月 長野県北佐久郡軽井沢町に開校（目標）

※上記はあくまで目標であり、「学校法人設立並びに学校設置の認可」取得時期によって、開校を2020年4月以降に変更する場合があります。

## ■ 設立準備財団理事よりコメント

本城慎之介（理事長）

みんなが同じ方向を見て、同じものを手にして、同じことを学ぶ時代は終わりました。どんな世界を見るのか、どんなものを手にして、どんなことを学ぶのか。それを一人ひとりが決める学校を創ります。そのような学びが展開される学校では、大人の在り方は大きく変わります。大人が学び続ける組織を創り、新しい学校の姿を提示していきます。

岩瀬直樹（副理事長）

幸せな子ども時代を過ごせる新しい学校を創ります。私は公教育の可能性を信じています。子どもが持つ学ぶ力を信じています。教員の力を信じています。それらが最大限発揮される学校とはどのような形でしょうか。これまで学級で実践してきたことを出発点に、子どもも大人も「こんな学校に通いたい」「こんな学校を増やしたい！」とワクワクする学校を、一から創っていきます。

苫野一徳（理事）

これまで100年以上にわたって、教育学は、次の時代におけるより「よい」教育のあり方について、多くのすぐれた理論を蓄積してきました。それに基づいた先進的な教育実践も、今や世界中で展開されています。これらの知見を最大限活かし、さらに深めるような学校を創りたいと思います。そして全国の学校が気軽にモデルにできるような、そんな学校を目指したいと思います。

## ■ 設立準備財団 概要

名 称：一般財団法人軽井沢風越学園設立準備財団

理 事：本城慎之介（理事長）、岩瀬直樹（副理事長）、苫野一徳（理事）

評議員：松平誠、平野朝久、菅谷貴子

監 事：弓場法

所在地：〒389-0112 長野県北佐久郡軽井沢町中軽井沢 1-2-103

### 教職員を募集しています

設立準備財団では、現在、創立メンバーとなる教職員を募集しています。私たちが掲げる理念に共感し、一緒に新しい学校を作りたいという挑戦心あふれる方は是非ご応募ください。詳しくは設立準備財団ホームページをご覧ください。

<http://kazakoshi.jp/>

## ■ 設立準備財団 理事プロフィール



### 理事長

本城慎之介（ほんじょう・しんのすけ）

1972年、北海道生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。大学院在学中の1997年に三木谷浩史と共に楽天株式会社を創業し、取締役副社長を務める。2002年に退任後、株式会社音別を設立し、「教育」をテーマに活動を始める。横浜市立東山田中学校長（2005年4月～2007年3月）や学校法人東京女学館 理事（2007年～2014年）を歴任するなど、現場と経営の視点で教育に取り組んでいる。2009年より軽井沢町で野外保育「森のようちえんぴっぴ」の運営と保育に携わる。中2、中1、小5、小3、年中の5児の父。2009年より軽井沢町在住。



### 副理事長

岩瀬直樹（いわせ・なおき）

1970年、北海道生まれ。東京学芸大学教育学部初等教員養成課程国語選修卒業。埼玉県の公立小学校教諭として、4校で22年間勤め、学習者中心の授業・学級・学校づくりに取り組む。平成20年度埼玉県優秀教員表彰。2015年に退職後、東京学芸大学大学院教育学研究科 教育実践創成講座 准教授として就任。学級経営、カリキュラムデザイン等の授業を通じて、教員養成、現職教員の再教育に取り組んでいる。教師教育学会所属。大1、中2、小3の3児の父。

（主著）

『せんせいのつくり方 “これでいいのかな” と考え始めたわたしへ』（共著）（旬報社、2014年）

『最高のチームになる！クラスづくりの極意』（農文協、2011年）

『最高のクラスのつくり方』（小学館、2010年）



### 理事

苫野一徳（とまの・いっとく）

1980年生まれ。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。博士（教育学）。哲学者・教育学者。教育とは何か、そしてそれはどうあれば「よい」といえるか、という原理的テーマの探究を軸に、これからの教育のあり方を構想している。公教育の本質は「自由の相互承認」の実質化にあるとし、その具体的なあり方として「学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合」などを提唱。全国で、教員・一般向けの講演やワークショップ、セミナーなどを多数行っている。日本教育学会、教育哲学会、日本デュイ学会等所属。小1、3歳児の父。

（主著）

『教育の力』（講談社、2014年）

『勉強するのは何のため？——僕らの「答え」のつくり方』（日本評論社、2013年）

『どのような教育が「よい」教育か』（講談社、2011年）

以上